

2013年4月22日

千代田区 区長 石川雅己 様
千代田区教育委員会 委員長 中川典子 様
千代田区教育委員会 教育長 山崎芳明 様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部 支部長 上浪 寛
同 保存問題委員会 委員長 安達 文宏
同 千代田地域会 代表 赤堀 忍

千代田区立九段小学校・幼稚園施設のプロポーザル実施に関する要望書

拝啓 貴区におかれましては、日頃より、建築文化の発展・継承と教育に深く理解をせめされ、取り組まれていることに、心より敬意を表します。

さて、区立九段小学校・幼稚園校舎の施設整備について、貴区は、保存・活用を視野に入れて検討を行うことを方針とされ、今年度には、基本設計者をプロポーザル方式で選定する予定であることを聞きました。

千代田区立九段小学校の既存校舎の震災復興小学校としての価値と保存の意義については、昨年10月3日に当協会より提出しました「千代田区立九段小学校・幼稚園校舎の保存・活用に関する要望書」に述べたところであります。また、地元代表によって審議される「九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会」でも、その文化的・教育的両面での価値への理解とともに、地元の皆さまの深い愛着が語られています。

一方、その構造の耐震安全性や新しい教育環境の創造の可能性については、十分なご理解が得られないままに、全面改築でなければ、これらが達成できないかのような議論がされてきたように感じられ、プロポーザルの提案内容を制限されることもありうると危惧されます。

当協会としましては、既存校舎を可能最大限に保存し、継承された空間に学ぶ教育効果を得ながら、既存部分の改修の創意工夫と新設部分の付加により、安全・快適で、最新の教育環境の要求に合った設計をすることは、十分可能と考えています。プロポーザルにおいて、多くの建築家の参加によって、そのような提案が具体的にされるのが、九段小学校・幼稚園の計画を適切な方向に導くことになると考えます。

そこで当協会は、九段小学校・幼稚園施設の基本設計者選定に関するプロポーザルにおきましては、このような提案までも含めた、広い枠組みで実施して下さること、学校建築・耐震構造の専門家、小学校教育・幼児教育の専門家の参加する、公平で質の高い審査を行ってくださること、および、公募から審査選定に至るプロセスをできるだけ公開していただくことを、ここに要望いたします。

なお、公益社団法人日本建築家協会は、設計者選定のシステムについてのアドバイスをさせて頂くことが可能である事を、お伝えしたいと存じます。

敬具